

商品説明

品名 90度はく離治具

品番 JIG-K6854-1

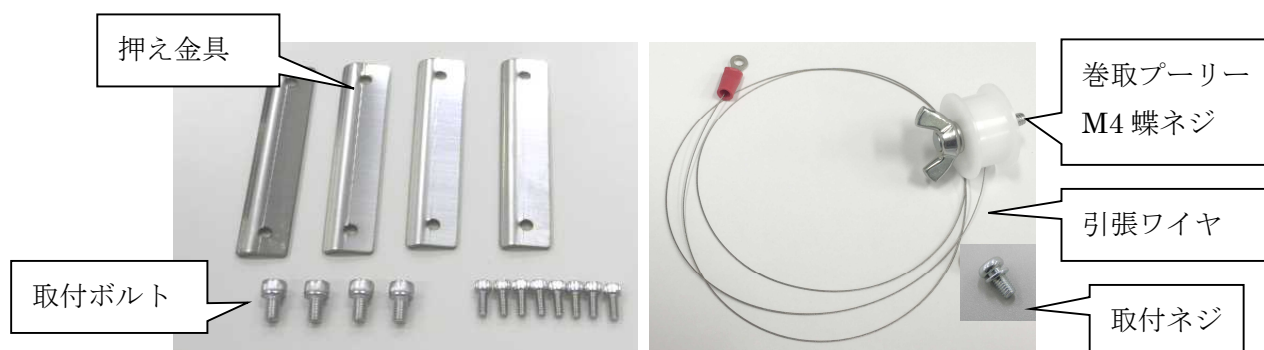
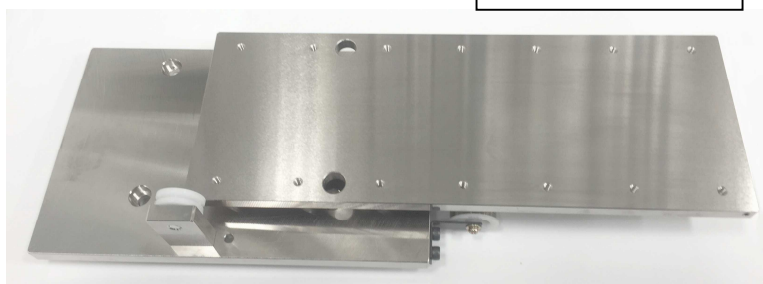
概要

弊社一軸試験機を使用して90度はく離試験(JIS K 6854)を実施するための専用治具です。クロスヘッドの動作に追従してテーブルがスライドし、常に90度が保たれた状態ではく離試験を実施することが可能になります。(取付けには一部加工が必要な場合があります)

商品内容

90度はく離治具	1台
取付ボルト M6-10	4本
引張ワイヤ(巻取プーリー)	1式
押え金具	4個
取付ボルト M4-8	8本
取付ネジ M3-8(2点セムス)	1本

90度はく離治具



※ 巻取プーリーの固定は古い JSV-H1000 や MAX、HIT の場合、別売の取付けブラケットをご使用ください。その他機種で巻取プーリー固定用の M4 ネジ穴が試験機にない場合は、M4 ネジ穴の追加加工が必要になります。詳しくは弊社までご相談ください。

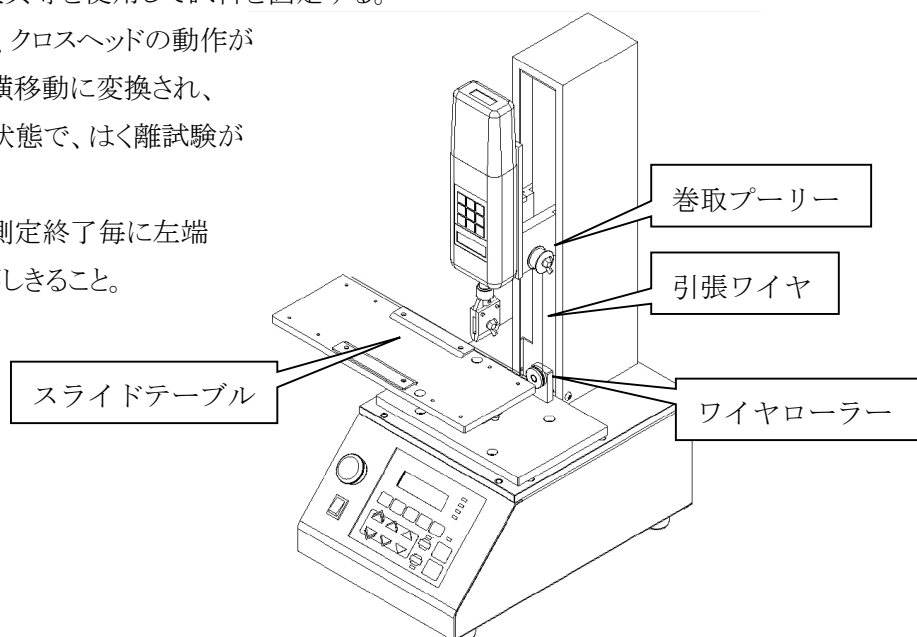
仕様

- ・ 最大スライド量(ストローク) 約 140mm
- ・ 質量 約 4000g

使用方法

- ① 試験機のベースにベース取付穴 4箇所を使用して付属のボルトで取り付ける。
(ベース取付用工具穴を利用する)
- ② 巻取プーリーを試験機のクロスヘッドに M4 蝶ネジで取り付ける。(※追加加工が必要な場合があります)
このとき、ワイヤーローラーに鉛直に引張ワイヤーが取り付く様に調整すること。
- ③ スライドテーブルを左端までスライドさせ、クロスヘッドがスタート位置にある状態のときに引張ワイヤーの余った部分を巻取プーリーに巻取り、ワイヤーが軽く張られた状態で巻取プーリーを固定する。

- ④ 必要に応じて押え金具等を使用して試料を固定する。
- ⑤ 引張試験を行なうと、クロスヘッドの動作がスライドテーブルの横移動に変換され、常に 90 度を保った状態で、はく離試験が行なわれる。
- ⑥ スライドテーブルは測定終了毎に左端 (STAT 位置) まで戻しきること。



JSV-H1000 への使用例

寸法及び各部名称

